



赤い羽根 「災害ボランティア・NPO活動 サポート募金」令和4年8月豪雨災害 (ボラサポ・令和4年8月豪雨) 報告

「支える人を支える」しくみ

〇岩手県

村上市

シャンティ国際ボランティア会

被災後の子どもたちはストレスをうまく言葉で表現できず、気性が荒くなる様子が見受けられました。そこで専門家のサポートのもと水遊び、泥遊び、木工など体を使った遊び場を展開。五右衛門風呂など子どもたちにとって初めての体験を提供する場となりました。また被災した保育園や、その分散保育を受け入れた保育園には備品・蔵書の提供を行いました。

● 寄付者へのメッセージ ●

ご寄付頂きありがとうございます。国際情勢や相次ぐ災害に被災地の状況が隠れてしまっていますが、我々はこれからも地元の人に寄り添い支援活動を続けます。



一戸村、九戸村

いわて連携復興センター

災害ボランティアセンターの設置・運営支援や、被災家屋の復旧支援を行いました。住民同士の繋がりや助け合い精神が残っている地域ゆえ、同じく被災されたご近所を頼れず、ご自身よりご近所のことを心配しておられる様子でした。災害ボランティアセンターが活動している様子を見ていただくことで徐々に信頼を高め、依頼を増やすことができました。

● 寄付者へのメッセージ ●

ご寄付はNPOだからこそ出来る、被災者に寄り添ったきめ細やかな活動のため大切に活用させていただきました。皆様からの温かいご支援、感謝いたします。



寄付実績

「ボラサポ・令和4年8月豪雨」では、多くの企業・団体・市民の皆さまからのご協力を頂きました。多大なご協力をいただきありがとうございました。

寄付総額	24,896,086円	(*)2022年12月31日現在
助成総額	8,910,000円	
事業費	1,336,500円	
繰越額	14,649,586円	
* 繰越額は、次の災害の支援に充てさせていただきます。		

またボラサポでは災害発生に備えるため常時ご寄付を受付しております。引き続きご支援お願いいたします。

■ 寄付金の受入口座 ■

三井住友銀行 東京公務部 普通預金 口座番号 0162585 口座名：社会福祉法人中央共同募金会

※ 三井住友銀行 本支店間内のみ送金手数料が免除となります。

※ ボラサポへの寄付金は、社会福祉法人（特定公益増進法人）への寄付金として税制上の優遇措置（所得税、法人税）の適用対象となります。

< 根拠法令等 > 所得税法第78条 法人税法第37条

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」令和4年8月豪雨（ボラサポ・令和4年8月豪雨）報告

発行 2023年1月

社会福祉法人 中央共同募金会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

Tel ● 03-3581-3846 Fax ● 03-3581-5755

メール ● kikin@c.akaihane.or.jp

ホームページ ● <https://www.akaihane.or.jp>

赤い羽根Facebook ● <https://www.facebook.com/akaihane>

中央共同募金会Twitter ● @akaihane_chuo

赤い羽根の
災害時支援HP



赤い羽根
Facebookページ



社会福祉法人 中央共同募金会



ボラサポ・令和4年8月豪雨とは

令和4年（2022年）8月3日から続いた記録的な大雨により全国各地、特に北陸地方から東北地方にかけて広く河川の氾濫や土砂災害等が発生し、甚大な被害が発生しました。この豪雨災害により被害を受けた方々に謹んでお見舞い申し上げます。また被災された方々と被災地域の復旧を心よりお祈り申し上げます。

この豪雨災害においては、5県35市町村に災害救助法が適用されるとともに8県22市町村で災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアグループやNPO等によって民家や水路の土砂の掻き出し、浸水した家屋からの家財道具の搬出や清掃など、緊急救援・復旧支援のための活動が実施されました。

こうした状況を受け、中央共同募金会においては「ボラサポ・令和4年8月豪雨」を実施し、助成応募受付を行うことで各地でボランティア活動を行うボランティアグループやNPO等を資金面で支援し、被災地と被災者を支える活動に助成を実施して参りました。

助成概要

8月16日から開始した助成公募では、被災県内のボランティアグループ・NPO団体等が行う活動を対象としたほか、被災地域の状況や行政・関連機関等が公表するボランティア活動に対する注意喚起・意向をふまえながら、「自治体・社会福祉協議会などからの支援要請に基づく活動を行っていること」を条件に被災県外のボランティアグループ・NPO団体等が行う活動も対象として募集を行いました。その結果、27団体から合計1,105万円の応募がありました。

この応募内容を活動分類別にみると、当助成では発災直後に行われた活動日数30日以内の短期活動を対象としたことから「被災家屋の片付け補助」が最も多く応募全体の約8割を占めたほか、次いで「ボランティアセンター・避難所の運営支援」や「ボランティアのための資機材・物資の運搬」の応募も多く見受けられました。

一方、活動地域別にみると新潟県（村上市・関川村）で活動した団体が最も多く応募全体の8割を占めました。次いで応募の多い順に石川県、山形県、青森県、宮城県、岩手県、秋田県、福井県と続いており、広範囲に活動が展開されたことが見てとれます。

これら応募案件について、審査委員会において審査基準に基づき応募内容の審査を行った結果、24団体に対して891万円の助成決定をいたしました（県内団体:12件/372万円、県外団体:12件/519万円）。

本助成を活用し、被災された方々と被災地域の復旧・復興の一助となることを期待しております。

■ 助成状況（全体状況） 2022年9月30日現在

	応募		助成		
	件数	助成額 (万円)	件数	助成額 (万円)	採択率 (%)
第1回 (県内団体)	12	392	12	372	100.0
第1回 (県外団体)	15	713	12	519	80.0
合計	27	1,105	24	891	88.9

活動事例

「ボラサポ・令和4年8月豪雨」の助成を受けて実施された活動の一部をご紹介します。

○新潟県

村上市

新潟市社会福祉協議会

参加者からは「社会福祉協議会がボランティアバスを運行することで、同じ志を持った方々と一緒に安心して参加できた」というご意見をいただきました。被災地の災害ボランティアセンターでは”平日のボランティア参加者が足りないこと“が大きな課題となっていたため、我々がこの活動を行うことで被災者の困りごとの解決に向け貢献することができました。

● 寄付者へのメッセージ ●

この度はご寄付をいただきありがとうございました。活動を通じて現地との絆が生まれ、新潟市内の災害ボランティアネットワークも育むことができました。



村上市

上越市社会福祉協議会

ボランティアバスを運行することで多くのボランティアに活動していただくことが可能となりました。一人一人に寄り添った支援を行うことで、生活再建の手助けができるように心掛けました。平時から関係機関が災害時に備えた取組みを行っていることにより、各々の知識や経験、技術を有効に活用して迅速に活動することができました。

● 寄付者へのメッセージ ●

皆さまのご寄付によって行うことができた今回の活動は、今後も継続すべきだと感じています。被災地での支援の輪を広げていきたいと思っています。



村上市

伊那市社会福祉協議会

感染症の影響もあり被災地ではボランティアの支援が不足する状況となっていました。そんな中、新潟県内の災害ボランティアセンターからボランティアの募集範囲を隣県に広げると発信があり、それに応える形でボランティアバスを企画しました。75歳から19歳まで合計23名が協力して住宅に残った土砂を運び出し所定の場所に積み上げる作業を行いました。

● 寄付者へのメッセージ ●

ひとりではハードルが高く参加が難しい、という皆さんの力を被災地に届けることができました。これも皆様からの尊いお力添えによるものと感謝しています。



村上市

村上ohanaネット

発災直後から行政と連絡を取り市内の避難状況や子育て家庭の被災状況、保育園などの休園状況を把握。復旧作業や諸手続の際に課題となる保育に支援が必要と判断し無償の託児支援を開始しました。口コミで利用者も増え、次第に信頼関係ができるにつれ保護者からは子育ての不安のほか生活への不安も語られるようになり、並行して相談支援も行いました。

● 寄付者へのメッセージ ●

地域のためにできることをしたいと強く願っても、予算を確保できなければ実行は不可能です。思いを行動に変える力を皆様のご寄付が後押しして下さいました。

